

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

災害廃棄物対策に関するシンポジウムの開催について（主催：環境省）

■RPPC事務局からのお知らせ

特にありません

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 福島県が小名浜港長期構想を策定、今後改訂計画作業へ
2. 水門・陸閘等の維持管理マニュアル策定へ議論開始
3. 29年度港湾関係税制改正要求認められる
4. 博多港須崎ふ頭地区の泊地、今年度事業で概成段階に

=====

◇先週・今週の報道発表

災害廃棄物対策に関するシンポジウムの開催についてお知らせします。  
環境省の廃棄物対策課より、当協議会宛に案内がきております。

「近年の非常災害の教訓に基づく災害廃棄物対策の今後のあるべき姿」 主催：環境省

日時：平成29年1月25日（水） 13時30分～16時30分予定  
場所：東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館会議室  
～詳細・申込は、下記をご覧ください～

[http://kouikishori.env.go.jp/action/d\\_waste\\_net/symposium.html](http://kouikishori.env.go.jp/action/d_waste_net/symposium.html)

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 福島県が小名浜港長期構想を策定、今後改訂計画作業へ

福島県は20～30年先を見据えた小名浜港長期構想を策定した。  
県では同構想を踏まえ、15年程度を計画期間とする小名浜港次期  
港湾改訂計画を具体化していく。年度内の具体化を目指す。  
長期構想による具体的な施設整備計画としては、東港において現在  
国際バルク戦略港湾（石炭）として整備中の水深18m耐震岸壁の  
隣接部に同じく石炭取扱対応の水深18mの大水深岸壁（耐震）を  
予定している。また埋立地を沖側に拡張し石炭取扱施設の機能強化も図る。

【港湾空港タイムス】

-----

2. 水門・陸閘等の維持管理マニュアル策定へ議論開始

国土交通省と農林水産省は海岸管理者が現場レベルで活用可能な  
水門・陸閘等の維持管理マニュアルを29年度末までに策定する。  
12月12日に「海岸保全施設における水門・陸閘等の維持管理マニュアル  
策定検討委員会（委員長・横田弘北海道大学大学院教授）」の初会合を開いた。  
海岸保全施設の維持管理については堤防・護岸・胸壁等については平成26年  
3月に改訂したマニュアルに基づき予防保全型の取組が進んでいる。  
ただ水門・陸閘等については鋼構造物や機器部などを有するため、  
他の指針を参考にした取組に留まっている。

【港湾空港タイムス】

-----

3. 29年度港湾関係税制改正要求認められる

自民党・公明党が12月8日に決定した平成29年度税制改正大綱において、  
港湾関係では、国際コンテナ・バルク戦略港湾に関する特例措置の延長や  
作業船の買換え特例措置の延長などが盛り込まれた。

【港湾空港タイムス】

4. 博多港須崎ふ頭地区の泊地、今年度事業で概成段階に

九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所は博多港須崎ふ頭地区の  
航路・泊地（水深12m）浚渫工事（第2次）の入札手続きを進めている。  
須崎ふ頭に入港する大型の穀物船などの安全航行に対応する。

須崎ふ頭の浚渫対象となっている航路・泊地の部分は現在、暫定水深10mまで  
整備が完了している。手続き中の工事では、これを水深12mに増深するもので、  
同工事により須崎ふ頭の航路・泊地の水深12m化が概ね整う。  
また、これにより中央ふ頭に入港する大型クルーズ船も、安全な回頭水域が確保できる。

【港湾空港タイムス】

発行：RPPC広報部会  
部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）  
部員：山崎 和宣 五洋建設（株）  
木村 竜也 東京都  
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター  
新谷 聡 りんかい日産建設（株）  
リサイクルポート推進協議会 事務局  
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木  
URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。